

【評価実施概要】

事業所番号	171000417		
法人名	社会福祉法人すばる		
事業所名	グループホームひだまり		
所在地	江別市大麻北町608番地3 (電話)011-387-2911		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル		
訪問調査日	2008年2月4日	評価確定日	2008年3月28日

(平成20年1月1日現在)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 1 2 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	1 8 人
職員数	17 人	常勤	1 3 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 2.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造(準耐火構造) 造り		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000~40,000 円	その他の経費(月額)	19,000円 (冬季暖房10~3月)
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要(平成 20年1月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名	
要介護1	5名	要介護2	5名			
要介護3	3名	要介護4	1名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	85 歳	最低	72 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北町クリニック・北町クリニック内歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近隣に幼稚園・小中学校、少年野球場、また、福祉・医療関連の特養・老健・北町クリニックがある。ホームの施設設備は廊下、トイレ、浴室、居室、居間など介護上も機能的配慮がされた好環境な状況にある。職員は親しく、笑顔で接し、利用者個々の生活状況をきめ細かに把握し、適切な介護に努めている。家族との関係は密接な連絡のもとに信頼も厚い。地域との関係は幼・小・中との交流、町内会・老人クラブの行事参加と多様で、運営推進会議も委員の積極的な参加協力のもとに運営されている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善項目は無い。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	各評価項目を職員間で綿密に検討しあいながら、全員で自己評価に取り組み、サービスの質の向上に反映させている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、家族・地域住民・地域包括センター等を構成員として開催され、利用者の生活・事故の対応・職員の異動等の結果や行事等についての報告がなされている。会議で出された意見や要望は、今後のサービスの質の向上・事業所の運営に活かされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「ひだまり通信」を発行し、日頃の利用者の様子を写真で伝えている。開設以来家族の訪問が多く、日常の暮らしぶりは、その都度報告されている。現在までに苦情は出ていないが、意見や要望等言い易い雰囲気づくりをして、運営に活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームは住宅地ではないが、商店街での行事への招待が多く、積極的に参加している。また、幼稚園の遠足や運動会に参加するなど、園児と接する機会もある。ボランティアを積極的に受け入れ、地域との連携を図っている。

評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. 理念に基づく運営</p> <p>1. 理念と共有</p>					
1	1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>ホームの「ひだまりが目指す家」という独自の運営理念は、平易な4つの文で書かれ、職員だけでなく家族にも理解され浸透している。</p>		
2	2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念の共有は図られ、日々ケアの中で実践に活かせるようチームケアの方針で取り組んでいる。</p>		
<p>2. 地域との支えあい</p>					
3	5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>商店街の行事等に積極的に参加している。幼稚園の遠足や運動会に参加するなど、地域との交流が盛んに行われている。また地域のボランティアも積極的に受け入れている。</p>		
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価項目について意見討議し、全職員で取り組み、外部評価を日々の中で見直しながら、質の高いケア向上に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域住民の参加が多い運営推進会議を「あすなる会」と名づけ、委員も積極的に参加しており、活発な意見を求め、サービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と積極的に各種相談や情報交換を行い、市との連携を密に行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「ひだまり通信」で日常生活を伝え、家族会で行事のビデオ鑑賞をするなど、家族の訪問に合わせ、きめ細かく報告されている。金銭管理は定期的に報告されている。要求があればその都度記録を提示する。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会では、食事会を開いたり、ホームの行事参加のほか、日常的に家族の訪問が多く、職員との意見交換がなされている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>普段からユニット間の交流が盛んで、職員の積極的な支援関係があり、異動による利用者へのダメージは無い。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内の研修や各種委員会への参加が多く、研修報告書も全員が閲覧できる。法人以外の研修にも、積極的に参加させている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	江別市内のグループホーム管理者の交流会で意見交換したり、他のホームとのパークゴルフ大会や、他のホームの見学や相互研修会等で交流を持つことにより、サービスの質向上を目指している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所前の見学では、入居者同士の交流をしホームの雰囲気等を体験してもらう。入居後は、家族の面会を多くしてもらいながら、ホームの生活に馴染んでいけるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	一緒に家事をしたり、共通の話題を通し、共に過ごすことで、新たな気づきや学びがあり、暮らしの中で共に支えあえる関係づくりをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの希望や思いについては、日々の会話より把握し意向に沿うよう努め、困難な場合は、日々の行動や表情から汲み取りながら把握している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>よりよく暮らせるよう、本人や家族の思いや要望を尊重し毎月のカンファレンスで意見交換し、個別介護計画に活かしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度の定期的な見直しをはじめ、毎月のカンファレンスに加え、状況に変化があれば、現状に即した計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院への送迎や、併設の認知症デイサービスとの交流、外出の支援等ホームに閉じこもらない柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>看護師が職員として配置されている。訪問看護ステーション・協力医療機関との関係も密に行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期のあり方について、家族と話し合っている。終末期の事例は無く、重度化に伴い、老健や医療型に移行するケースが多い。家族や医療機関の協力が得られれば、終末期を看取る方向にはある。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の、尊厳やプライバシー保護については特に気を配り、声かけや目立たないさりげない介護の対応に配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの状態に配慮して、その日の本人のペースを大切に生活できるよう、柔軟に対応した支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に調理をしたり、配膳や片付け等もお願いし、利用者と職員は同じテーブルを囲み、職員はさりげなく見守り支援をしながら、会話があり楽しく食事が出るよう、配慮している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望する曜日や時間に、入浴して頂いている。入浴拒否をされる方には、時間をずらしたり、タイミングを見て勧め方を工夫して支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理の準備やホーム内の掃除等、得意分野で力が発揮できるように、利用者の状態に合わせてお願いしている。季節に合わせた、ホーム内外での外出や行事等を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や本人の体調や希望にもよるが、出来る限り本人の意向に沿うような閉じこもらない支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の施錠はしていない。外出傾向のある方は、行動範囲を調べたり、玄関にセンサーと防犯カメラで外出方向が分かるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	緊急時の協力体制マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を行うと共に、反省会で再度災害時についての確認も行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事や水分の摂取状況を記録に残し、個別の残食もチェックし、栄養摂取量を把握している。法人の栄養対策委員会への参加や栄養士によるカロリー計算や栄養に配慮された献立を採り入れている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	リビングは日当たりも良く、窓から見える景色は季節感を感じることができる。共用の空間には季節に応じた装飾・観葉植物の配置、一人になれる場等の配慮があり、季節感・生活感のある工夫をしている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	利用者の大切な物、使い慣れた日用品が居室に持ち込まれ、安心して居心地よく、個別性にも配慮した生活ができるよう工夫をしている。		

 は、重点項目。